

第 23 回たじみ子ども会議 意見書
けんとうけ っ か ほうこくしょ
検討結果報告書



令和 4 年 1 月

多治見市

いけん かんせい
意見：完成したオリジナルマップについて

1. 市役所の掲示板にマップをはってほしい。
2. 駅などにもはってほしい。
3. 地域の人に配って見てもらえるようにしてほしい。
4. 市外の人に配って見てもらえるようにしてほしい。

し かんが たいおう
市の考え・対応

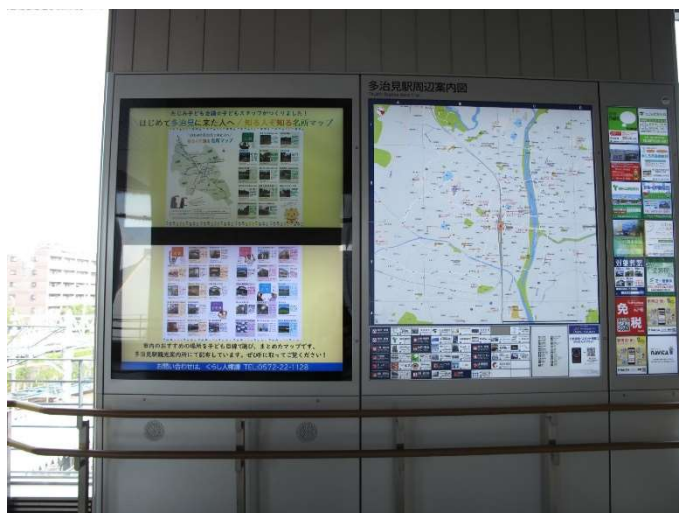
皆さんからの意見をもとに、完成したオリジナルマップを多くの人に見てもらえるよう、対応をしました。

1. 市役所の本庁舎1階に、マップを掲示しました。



多治見市役所本庁舎 1階ロビー

2. 11月10日～24日に、多治見駅南北連絡通路のデジタルサイネージで、オリジナルマップをPRしました。



多治見駅南北連絡通路デジタルサイネージ

3. 市内の公共施設（公民館、児童館・児童センターなど）に設置しました。また、広報12月号で、オリジナルマップを紹介しました。

第7次総合計画 / 市民が互いに助け合い学び合うまちづくり

たじみ子ども会議 オリジナルマップ つくりました

くらし人権課 TEL 22-1128

子どもスタッフのコメントです！
①子どもスタッフの活動について ②マップについて

昨年度の子ども会議から今年度9月まで取り組んで完成させたのが、子ども目線で作られたオリジナルマップです。昨年度末の市長との面談では「みなさんのアツい思いに満ちた、元気が出るマップの完成を楽しみにしています」と激励もいただきました。「たくさんの方が多治見に来てほしい」、「ザリガニがとれる」、「落ち葉がきれい」など子どもたちの思いが詰まった、とっておきのスポットが紹介されています。市ホームページからダウンロードできますし、市役所でも印刷物を入手できます。是非、ご覧ください。

糸川玄さん
(陶都中学校3年生)

①子どもの視点から行政を見ることができ、この活動で多治見について自分の考えを持つことができました。自分も多治見市の一員なんだという気持ちが一層強くなりました。

②今まで子ども目線で作った観光パンフレットはなかったと思います。僕も知らなかった情報をたくさん得ることができました。みんな楽しみな顔で頑張ったので是非みてください！

安藤愛美さん
(多治見西高校1年生)

①子どもの考えていることをおとなに直接届けられることができて、普段の高校生活でそのような機会はなかなかありませんが、子どもスタッフなら可能です。

②多治見の良いところを多くの人に知ってほしい。市外、県外からもたくさんの人に来てほしいです。多治見に住んでくれるきっかけになると嬉しいです。

川西奏颯さん
(多治見高校2年生)

①この活動を通じて、子どもの意見が行政に採用されることを肌で感じています。要望があれば、まずは自分が動いて周りの理解を得て仲間を増やしていく。おとなも同じだと考えています。

②多治見に住んでいても知らないことや場所があります。みなさんも新しい発見があると思いますよ。このマップは子どもだけで行ける場所、お金を使わなくても遊べる場所が載っていることが新鮮です。

小栗和真さん(義正小学校5年生)

①子ども同士だから話しやすいです。おとなになって会議をすると思うけど、その練習にもなっていると考えています。あと、僕たちの意見が市政に貢献できていると思ううれしいです。

②みんなが出したたくさんの意見を絞ってまとめていく作業が楽しかったです。まとめる力がついたと思います。多くの人に多治見の良いお店や場所を知ってほしいです。

前川陽菜里さん
(滝呂小学校5年生)

①自分たちの意見をまとめるだけでなく、人権や公共施設の統廃合の説明も市職員さんにしてもらい、視野が広がりました。

②私たちが作ったマップを見て、多治見を気に入ってもらいたいです。市民にはもっと多治見を好きになってもらい、市外からはたくさんの人に来てもらいたいです。そして多治見に住んでほしい！

吉田楓さん(北原中学校1年生)

①市の予算を使って何かを成し遂げる、このような大きなことを初めて体験することができました。自分の成長のプラスになっています。

②私は子どもスタッフの雰囲気が好きです。初参加の人や前回休んだ人もすんなり輪に入れます。全員に役割があり「みんなで作ってる感」がすごいです。このマップをたくさんの人に活用してもらいたいです。

2021.3 市長へ意見書提出

2020.12 子ども会議

オリジナルマップ in 多治見！ いろいろなところを見つけませう！

広報たじみ 12月号

4. 市内の観光案内所、土岐市、瑞浪市、可児市、春日井市、瀬戸市の観光施設等に設置してもらいました。また、多治見市のホームページに掲載しました。

今後も、子ども会議や子どもスタッフの活動をサポートしていきます。

(くらし人権課)